

秘教治療 我が師との思い出

—— 「世にもまれなブログ」より

Mimizu Toishi

御水 杜石

装幀
溝上なおこ

前書き

この本は、ネット上に私が *mimizutojisi* というハンドルネームで公開してきたブログ（このブログのアドレスは、文末に示しました）の記事の中から、或るテーマに沿うものを選んでまとめたものです。そのブログは、秘教の教え、言い換えるとエーテルについての人々の理解を得たいという目的で書かれています。なぜなら秘教治療が人々に受け容れられて、その治療に使われる愛のエネルギーが有効に吸収されるためには、エーテルについての理解が前提となっているからです。

かつて或る出版社の編集者が、「この本に書かれていることは、フィクションですか、ノンフィクションですか」とたずねました。これは『世にもまれなブログ』に書かれていることが事実としては、すんなりと受け容れたいということを示していたと思います。

四十年ほど前には、エーテルという言葉は、限られた人だけが耳にする言葉でしたが、今日ではネット上でこの言葉を多く見かけますし、これは高校の物理の教科書に出てくる宇宙空間全域に存在しているダークマターのことであることも知られるようになりました。これまでは、真空中は何も存在しないと想定されてきました。

このブログに書かれているヨガの先生は、エーテルについての知識を活用して秘教治療を行っていました。その治療法は、四十年前には、「眉唾もの」と考えられていたものです。今日では、エーテルは精神世界と科学の両方で、重要な位置を占めつつあります。

百年前の人々に、現在普及している携帯電話で、世界のどこにいる人とも通話ができると伝えたら、それは魔術に違いないと思われることでしょう。同様に、四十年前の人々に「薬を使わずに話だけで病気を治す」と伝えたら、魔術か呪術の一種ではないかと疑われました。

二〇一一年五月に、アリス・ベイリー著「秘教治療」という本がA A Bライブラリーから出版されています。この本はヒマラヤ奥地に住む覚者方のお一人、チベット人と呼ばれている方が一九三〇年代に、メンタル・テレパシーでアメリカにいるアリス・ベイリー夫人に書き取らせて出来上がった本です。

「秘教治療」という本に書かれてある非常に難解で抽象的な概念の、分かりやすい具体例を、ヨガの先生の治療について紹介したこの『秘教治療 我が師との思い出』という本の中に見出すことができます。この本では、秘教の教えになじみのない方でも、とっつき易い具体例によって、エーテルとはどのようなものであるかがわかるように説明してあります。秘教の入門書と

して読んでいただけるとありがたいです。

伝統医学では治療の難しいガンなどの難病も、エーテルの理解が進むにつれて、秘教治療との連携によって、新たな治療法が発見されるかもしれません。私の願いは、秘教治療が世に受け容れられて、伝統医療との統合が模索されることです。

目
次

| | |
|------------------|----|
| 前書き | 1 |
| はじめに | 8 |
| 先生との最初の出会い | 11 |
| 先生の自宅への最初の訪問 | 13 |
| 三つの奇跡 | 16 |
| 親鸞の教え | 20 |
| 不思議な体験 | 22 |
| 夏の思い出 | 24 |
| 一億円の話 | 29 |
| エーテルエネルギーの渦を見る体験 | 30 |
| 天河神社での瞑想体験 | 32 |
| エーテル体の教え | 33 |
| かぼちゃ小屋(一) | 35 |
| かぼちゃ小屋(二) | 37 |
| 先生のオハコの話 | 38 |
| 先生の愚痴 | 40 |
| エーテルには距離がない | 41 |
| ガンの治療 | 43 |
| 横隔膜の話 | 45 |

| | |
|--------------------|----|
| 無公害の想念 | 47 |
| 死の恐怖を克服する | 48 |
| 死の苦痛 | 49 |
| 死についての情報源 | 51 |
| 死後に肉体から抜け出す何かが存在する | 52 |
| 死を話題にすること | 53 |
| 死をもたらすもの | 55 |
| 死についての理解を深める | 57 |
| 死の過程 | 58 |
| 人格の意志と魂の意志(一) | 59 |
| 死についての理解の仕方 | 61 |
| 死に際しての孤独感の克服 | 68 |
| 死と睡眠の類似点と相違点 | 69 |
| 人格の意志と魂の意志(二) | 70 |
| イニシエーションについて | 73 |
| 死ぬ技術について | 75 |
| 人はどのように生涯を | |
| 反復するのであろうか | 76 |
| 死者を送り出す | 77 |
| もう一つの恐怖をつくるもの | 79 |

| | |
|--------------------------|-----|
| 意識の連続性について…………… | 80 |
| 瞬間治療について…………… | 82 |
| グループ治療について…………… | 83 |
| ブッディ・エネルギーとは…………… | 85 |
| 上位のエネルギーが | |
| 下位のフォースをコントロールする…………… | 86 |
| 治療の失敗…………… | 88 |
| 大きなトライアングル…………… | 89 |
| 病気とカルマ…………… | 90 |
| 治療家の苦勞…………… | 92 |
| トランスフェランス（転移）…………… | 94 |
| 先生の生活費…………… | 95 |
| 「タラの芽は、出ることがない」…………… | 97 |
| 母と子…………… | 99 |
| ユダケとは…………… | 100 |
| 一杯のお茶に込められた感謝のエネルギー…………… | 101 |
| ボタモチの話…………… | 102 |
| 思案点について…………… | 104 |
| ハイラーキーへの道…………… | 106 |
| リズムの法則について…………… | 107 |

| | |
|-----------------------|-----|
| リズムの法則から第七光線について…………… | 109 |
| 仙骨チャクラのフォース…………… | 111 |
| せせら笑いと悲しみの涙…………… | 112 |
| 単純でありましょう…………… | 114 |
| マインドを準備すること…………… | 115 |
| 童話について…………… | 117 |
| 先生の秘教治療…………… | 118 |
| 「くすりとやすり」について…………… | 120 |
| メンタル体の歪みの矯正…………… | 122 |
| 信について…………… | 123 |
| 恐怖を取り除くことの重要性…………… | 127 |
| 東尋坊の話…………… | 128 |
| 水仙の花…………… | 131 |
| あとがき…………… | 133 |
| 大祈願…………… | 136 |
| 補遺…………… | 138 |

秘教治療 我が師との思い出

はじめに

この頃世の中に流行っているブログというものを、私もやってみようという気になって、三年前、ブログを開設しました。

私の文章は、自分で言うのもなんですが、少し硬めで、しゃちほこばっていますので、時々笑えるような、ネタを探してきて、それを折り込めればと考えて書き綴ってきました。

長年、指導を受けてきた先生（名前は伏せておきます）は、「笑いがなければ真理ではない」というようなことを仰っていました。真理は、姿勢を正して、緊張して聞き、うけたまわることだと考えていた私は、その言葉で「ガツーン」と衝撃を受けたことを思い出します。

誰しも固定観念というものがあって、自分なりの条件づけを行っているとありますが、私の場合、真面目一方「かみしも」を身につけたままで、伝えられる真理は拝聴すべきであると考えていた所がなきにしもあらず、です。

私の第一のテーマ、健康問題のことですが、健康問題を扱うとなると、いきおい、表現の硬い専門用語を頻繁に用いることとなります。その点は、ご承知おきください。

気楽に、しかし真剣に、ついてきてくださる方には、他の方の病気の症状を緩和し、治療の